

3. 北陸農政局管内の特徴ある事例 (～過去に選定された地区のフォローアップから～)

R3 全国選定

株式会社白銀カルチャー（新潟県新潟市）

土地利用型複合経営による高収益作物の導入



H27 北陸局(特別賞)選定 R2 全国選定

小菅沼・ヤギの杜（富山県魚津市）

中山間地域の耕作放棄地解消と交流人口創出



H27 北陸局選定 H29 全国選定

就労継続支援B型事業所

特定非営利法人ピアファーム（福井県あわら市）

農業で採算がとれる就労支援実践の確立



H28 北陸局選定 H30 全国選定

小浜市阿納体験民宿組合（福井県小浜市）

地域一丸の漁家民泊で教育旅行の多様なニーズに対応



R3 全国選定

土地利用型複合経営による高収益作物の導入 ① 株式会社白銀カルチャー【新潟県新潟市】

ICT・スマート農業

6次産業化

教育機関との連携

農福連携

活動の概要

○130haを超える規模まで農地を拡大し、水稲、麦、大豆の他、えだまめ、トマト、パプリカ等複合経営を展開。

○作業の省力化、効率化のためにスマート農業技術を積極的に導入。無人トラクター・ドローン・水田の水管理の自動化・直進自動操舵システムなどICT技術の導入は若手従業員のやりがいの創出にもつながっている。

現在の活動及び今後の展開方向

現在の活動

- 経営内容は、水稲43ha 大豆62ha 麦15ha 野菜15ha、合計135ha(R5現在)
- 従業員は10名で、平均年齢は38才。
- 「麦で地域を活性化する取組」として3種類の麦を生産。
 - ①新潟市内の業者が醸造するウイスキーの原料に使用する大麦「ゆきはな六条」
 - ②新潟市秋葉区において産・福・学・官が連携してPRしているもち性大麦「はねうまもち」
 - ③主にパン用として使われ新潟市内の業者に全量出荷している小麦
- 新潟市内の小学校の総合学習の時間では食農教育を通じて地域に貢献。

- 2名の障がい者を常時雇用するとともに、繁忙期には障がい福祉施設の方に農作業等を依頼。



ドローンによる
肥料・農薬の局所施用



(株) 白銀カルチャー



水稲の湛水直播



ハウスでのパプリカ栽培



鮮やかな彩りの野菜



障がい者の常時雇用

今後の展開方向

- 麦・大豆について、実需とのつながりを強めながら、生産拡大を図っていく。
- 特に小麦は、新潟市内のスーパーやパン屋を中心に、地元産の小麦を使っていたけような取組を行っていく。



従業員の平均年齢は38才

H27 北陸局(特別賞)選定
R2 全国選定

中山間地域の耕作放棄地解消と交流人口創出

② 小菅沼・ヤギの杜 【富山県魚津市】

環境保全・景観保全

食育・教育

農林漁業・農山漁村文化体験

活動の概要

- 平成20年に鳥獣害対策としてヤギを放牧したことをきっかけに、地域内外の有志で「小菅沼・ヤギの杜」を結成。地区の環境整備とともにグリーンツーリズムを開始。
- 荒れた棚田を復元し、作物の作付け・収穫体験や食品加工、稲で田んぼに絵を描く「稲作アート」など多彩な活動を展開。
- 学校や漁協など地元団体と連携し、都会からの旅行者を積極的に受け入れることで、土地の魅力の再発見と交流人口の拡大につなげている。



舌刈り中のヤギ



稲作アート田植え体験



米国の高校生が奉仕活動として遊具を寄贈



棚田の畔端に植えたコキア

現在の活動及び今後の展開方向

現在の活動

- 14頭のヤギが耕作放棄地の舌刈りを行い、環境整備を行うとともに地域の鳥獣被害防止にもつながっている。
- ヤギとのふれあい、稲作アート、野菜・ハーブ栽培、森を活用したクラフト活動等を展開。地区外の住民や子供達に自然環境保全の大切さを学べる場を提供し、交流人口の増加（令和5年は延べ1800人参加）に繋げている。
- 棚田米、雑穀を活用した加工品、ル・バーブジャム等を製造し、イベント等で販売（令和5年は約300万円の売上）。

今後の展開方向

- 地域外から訪れる人々が増加しており、農作業体験等を充実し、より里山の恵から得られる自然の大切さを体感してもらえるように受入体制を整備していく。
- 色育(いろいろ)アドバイザーの教室を開催。子どもにとって大切とされる「3つのチカラ」（集中力、想像力、コミュニケーション力）を育むプログラムを実施。

H27 北陸局選定
H29 全国選定

農業で採算がとれる就労支援実践の確立

就労継続支援B型事業所

③ 特定非営利活動法人ピアファーム【福井県あわら市】

6次産業化

地産地消

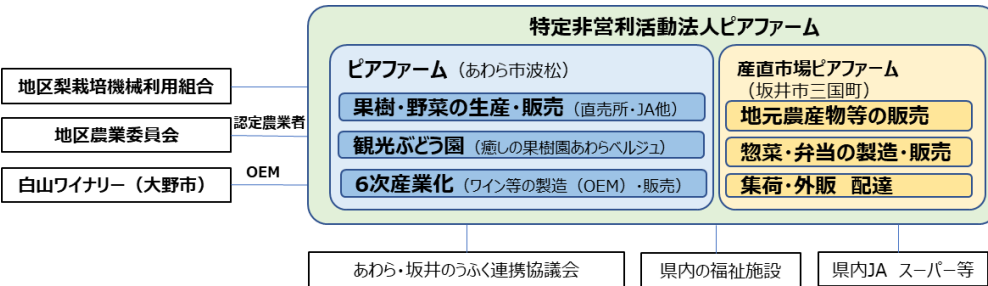
医療・福祉

活動の概要

- 就労継続支援B型事業所として、農業で工賃向上（目標月5万円）を目指して就労体制を整備している。
- 認定農業者として、果樹栽培の規模を拡大し、産地の維持・発展に大きく寄与している。
- 観光ぶどう園やワイン・ジュースの製造（OEM）販売に取り組み、県内の福祉施設やJA、スーパー等多様な販路を確保し、収益向上に努めている。



ピアファーム観光ぶどう園
「癒しの果樹園あわらベルジェ」

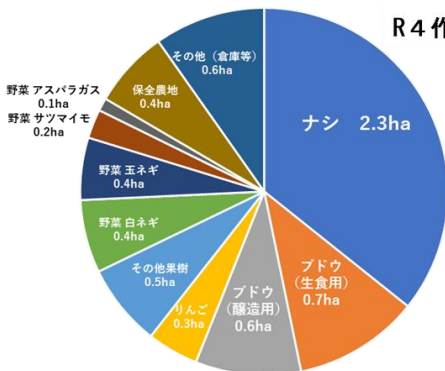


ぶどう畑の手入れの様子

現在の活動及び今後の展開方向

現在の活動

- 作付面積は6.4haで営農開始時（H20）の約4倍。



○年間通じた多様な作業体系を確立。

ピアファームの栽培体系

主な栽培品目	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月
梨（早生、中生、晩生）				調整作業				収穫			調整作業	
ぶどう（早生、中生、晩生）				調整作業				収穫			調整作業	
玉ねぎ					収穫							播付
白ねぎ							播付					収穫
アスパラガス（ハウス）				収穫								
さつまいも							播付		収穫			

- スタッフとメンバー（障がい者）の作業分担・連携割合（作業工程率）を作成し、作業内容を可視化・共有。

梨栽培におけるメンバー、スタッフの標準作業工程率

作業項目	作業分担・連携割合
1. 摘蕾（余分な蕾を採る作業）	メンバー作業 80% スタッフ20%
2. 摘花（余分な花を摘む作業）	メンバー作業 100%
3. 花粉付け（花に花粉をつける作業）	メンバー作業 100%
4. 袋掛け（実に袋をつける作業）	メンバー作業 80% スタッフ20%
5. 草刈り（乗用、刈払い機）	メンバー作業 100%
6. 防除（SS車農業散布）	スタッフ 100%
7. 収穫作業	メンバー作業 50% スタッフ 50%

今後の展開方向

- メンバー（利用者）の障害の種類が多様化。メンバーの特性に合わせた作業スタンスとスタッフの作業体系を構築するとともに、栽培工程の汎用化を図り、工賃向上につなげていく。

H28 北陸局選定
H30 全国選定

地域一丸の漁家民泊で教育旅行の多様なニーズに対応 ④ 小浜市阿納体験民宿組合【福井県小浜市】

農泊

農林漁業・農山漁村文化体験

食育・教育

活動の概要

- 県内外の小中学生をターゲットとした教育旅行の受入を核として、週末限定で一般客の受入も開始。
- 若者や女性グループが中心となって、釣り堀、魚捌き体験、大自然の中でのシーカヤック体験を実施。
- 夕食後に宿の主人や女将、将来の後継者が参加して、漁師の仕事、漁村の暮らしぶりについて語り合う交流会を開催。



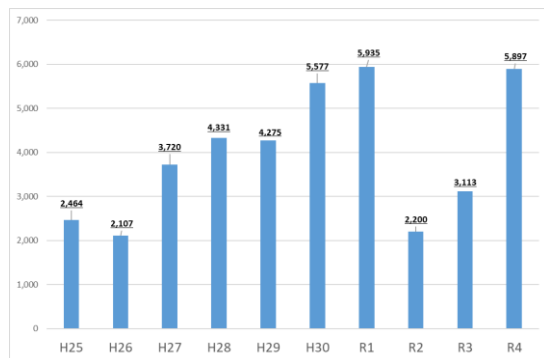
シーカヤック体験



鯛釣り体験



魚捌き体験



ブルーパーク阿納利用者数推移

現在の活動及び今後の展開方向

現在の活動

- 体験施設「ブルーパーク阿納」で、県内外の小中学生の教育旅行を受入。PR活動のため市と組合員（漁家）が一緒になって県内外の学校を訪問。
- 漁村集落特有の文化に触れてもらうため、夕食後の語り合いを開催。
- 若者7名が「阿納パドラーズクラブ」を設立し、シーカヤック体験を運営。

今後の展開方向

- 教育旅行の受入数はコロナ禍前に回復。漁家民宿も全戸が後継者を確保しており、働きやすい環境を整備しながら世代交代を図っていく。